

# 高病原性鳥インフルエンザ 宮崎県で7例目 全国では10例目

【7例目】宮崎市高岡町 肉用鶏 約190,000羽飼養

- ・2月1日午後0時、農場から宮崎家畜保健衛生所に通報  
(死亡羽数増加:1月31日に50羽→2月1日に191羽の死亡確認)
- ・2月1日午後 A型インフルエンザの簡易検査で7羽中6羽陽性
- ・2月1日深夜 遺伝子検査で、H5亜型陽性、死亡鶏の状況等も合わせて考え、疑似患畜と判定

\* 宮崎県では、1月27日以降、3例目(都農町 10,000羽飼養)、4例目(川南町 92,000羽飼養)、5例目(延岡市 66,000羽【種鶏】)、6例目(高鍋町 40,000羽飼養)と今回の7例目と、いずれも肉用鶏で本病が確認されています。

[【次頁「日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況」参照】](#)

## 農場へウイルスを侵入させないために！

野生動物等の鶏舎への侵入防止

農場出入口での消毒の徹底

消石灰等による畜舎周辺の消毒

### 飼養衛生管理の徹底と異常発見時の早期通報を徹底

防鳥ネットの破れはないか等野鳥等の侵入防止対策点検

踏込消毒槽、専用の作業着・履き物の設置を徹底すること

鶏舎周囲に穀類等のエサや生ゴミ等の野生動物を誘因するものを置かず、清潔に保つこと

飲用水は消毒されたものであること 等



毎日、必ず家きんを観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



# 日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況 《H22年10月～》

